

9月11日 水



女子美術大学
多摩美術大学
東京造形大学
日本大学芸術学部
武蔵野美術大学

ポルトフォリオ版画集とアートブック展

版画 五 美大 2024

↓
10月5日 土

10時～17時（入館は16時30分まで）
日曜休館（9/16 月祝、9/23 月祝は特別開館）入館無料



JAM
JOSHIBI ART MUSEUM

ポートフォリオ版画集 と アートブック展

東京五美術大学の各版画研究室共同企画による「版画五美大 2024 ポートフォリオ版画集とアートブック展」を開催いたします。ポートフォリオ版画集とは限定数のある版画を集めたセット作品で、各大学で授業の一環として毎年制作されています。この展覧会を通じて大学の垣根を超えた教員、学生間の交流を活性化させ、版画教育研究の新しい展開を探っていきます。この他に、併設コーナーとして、印刷メディアとしての版画の特性を活かしたアートブック、絵本、ZINEなどの本による作品も各大学から出品されます。

女子美術大学

女子美では、「自画像」をテーマに版画集を制作している。卒制版画集として「版画」第1期生からこのテーマを継続しており、学位授与式の際に手渡される伝統がある。自画像の解釈は自由で、自己を形成する言葉を選びながら、それぞれの表現方法を模索する。版画集に入れる作品は、卒業年次の人数分を制作し、エディションをとる為の技術をしっかりとし身に付けることを目的としている。多様な素材についての知識を深め、卒業制作に向けてより実践的な表現方法の獲得を目指していく。

『自画像』

ボックスサイズ：42×32×4.8 cm
シートサイズ：38×28 cm
限定部数：30部

参加者：青山桃華、伊藤沙希、福田ちり、福業由華、上村朱李、河邊湖羽、木下理子、塩川純加、末木香衣、鈴木彩花、煤孫心美、鄭如珍、友野琳香、中平果歩、原万里子、藤田真名、細溪響季、本目奈緒、宮原乃璃亜、望月優那、柳川琴美、山中京子、渡邊みなみ



多摩美術大学

私たちは、コロナによるリモートと対面授業の併用や行動範囲の制限、マスクの強制から任意への変化など、様々な動きの中で、他者との距離が離れたり近づいたりしながらも制作してきました。そのなかで、それぞれが「あい」について考え、感じる瞬間がありました。この版画集では、テーマ「あい」をそれぞれが自由に解釈し、これまで学んできた版画の可能性を提示する伝統的な版画からデジタル表現まで多岐にわたる作品を一冊の本としてまとめました。

『あい』

ボックスサイズ：35×34×1.8 cm
シートサイズ：31×31 cm
限定部数：46部

参加者：LEE Junhee, WANG Liruo, 太田菜々子、小川美咲、沖本虎太郎、奥津羽奏、WEI Conghan, 木村絵美、倉繁歩加、SHI Donghan, 清水 悠、瀧上夏紀、田島舞織、谷井楓、CHEN Xingru, 中山愛依子、二宮衣南、MA Yilun, MA Chenyao, 萩谷舞夢、畠山純平、原口真輝、松下桜子、三浦孔輝、宮本愛菜、森真奈美、山里悠真、吉田 桃、LI Lin, LU Yining, 笠 茜、LIU Zihan, 渡邊柚子、近内利、ZHANG Jiaying



東京造形大学

版画という芸術形態は、版やインクといった素材の別々の性格を組み合わせることで形成される。この版画集は、その構造や、版面と紙が向かい合う瞬間を経て完成されることに着想を得て「二面」をテーマに制作した。各々の異なる「二面」は、対照となる形状や要素を考案したものや、前述した版画の形態自体を内包したものなど様々である。それぞれの学生の視点や感覚の交差によって生み出された作品群の集約である「ふたおもて」が、「二面」の芸術を習得を志す我々の更なる探究に繋がるだろう。

『ふたおもて』

ボックスサイズ：39×34×2.5 cm
シートサイズ：39×34 cm
限定部数：21部

参加者：安藤舞花、福沼駿介、笠原亜衣、川崎淳平、阪上陽成、庄野 遙、田倉跳子、冨永佳那、友澤春香、鳥生理央、中村日向子、中村美佳、西谷友希、畑村百香、平野綾美、松本葉冬、Silvia Ioana Theodorescu, Minnie Isolda Fawcett-Tang



日本大学芸術学部

Portfolioの「P」の頭文字をタイトルにしており、「5つのP」をコンセプトにした版画集である。
1. People / 作品を通して学生同士のつながりを表現
2. Personal / 個々の作品としての確立
3. Potential / 「版」を介しての表現の可能性を探求
4. Paper / 印刷する紙へのこだわり
5. Print / 印刷すること、版画を作るということについて

『P』

ボックスサイズ：43×30×3 cm
シートサイズ：30×30 cm
限定部数：14部

参加者：
[4年] 山崎りん、石塚万里奈、小林恭子、福田怜将
[大学院1年] CHU ZHIMIN、松木宏賢、小林幹太、MA XIAO
[大学院2年] JEOUNG HAE SOO、青柳有華、石川珠衣、永田士郎



武蔵野美術大学

高度な専門性を追求しながら各自が自由なテーマの下で制作を行った作品を、学生主体で一冊の版画集に纏めるという4年時前期の課題である。限定部数を設定し、51×36 cmのシートサイズで、企画、編集、造本研究、装丁等工程を学び、グラフィックアーツとしての版画の展開を実践することを目的とする。非常勤講師や教員スタッフに参加を呼びかけ、例年40前後の限定部数となる。そして参加者各自が一部ずつ他の作家の作品を所有する。完成した作品集は、武蔵野美術大学 美術館・図書館および版画研究室の保管として今後の研究資料として役立つ。

『Printmaking Division 2024』

ボックスサイズ：55.5×40.5×7 cm
シートサイズ：51×36 cm
限定部数：55部

参加者：赤坂咲耶、イェウォン、猪狩日菜、五十嵐 凜、市川加奈、伊藤万彩、井上美咲、猪爪七海、ウォン ソヨン、遠藤妃七、片平実加子、川島早知花、菊池繪之介、記田みのり、キム ドンミン、木本 匠、栗林萌華、小池亜依、丸瀬朝香、阪野繪之介、佐藤結希乃、澤田拓実、澤永実手、下村恵里佳、ソンミンコン、高島咲良、館本りしゅら、寺岡大統、藤樫武蔵、富岡千夏、野田倫加、平野めぐみ、星 香里、堀江大晴、三宅菜々香、守屋美穂、矢ヶ崎万里、矢代真碧、山崎美和子、横山日南、吉岡花生



版画五美大 学生作品展 2024

この展覧会では、東京五美術大学で版画を専攻する学生の作品を紹介します。各大学では、版画の多様な可能性を探るため、それぞれ特徴のある授業が行われています。各大学の授業の中で制作された作品は、基本的な版画（木版画、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーン）から従来の版画の枠にとられない表現まで様々です。学生それぞれの版との向き合い方で制作された作品が一同に集まります。



女子美術大学 博士前期課程美術専攻版画研究領域 1年
藤井晴子 FUJII Haruko
《そこにいるけど、いない》125×95 cm / 2023年



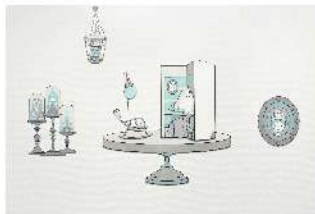
女子美術大学 博士前期課程美術専攻版画研究領域 1年
王涵 WANG Han
《aprbasting》175×154×4 cm / 2023年



女子美術大学 博士前期課程美術専攻版画研究領域 2年
尤一童 YOU Yitong
《雪が降る時、ずっと逃がっている》41×67 cm / 2023年



多摩美術大学 絵画専攻版画研究領域 博士前期課程 1年
有本理美 ARIMOTO Rimi
《窓は互いに重なり合っている》可変 / 2024年



多摩美術大学 絵画専攻版画研究領域 博士前期課程 1年
オウ ホウ WANG Meng
《デザートみたいな人生》可変 / 2024年



多摩美術大学 絵画専攻版画研究領域 博士前期課程 1年
藤原聖也 FUJIHARA Seiya
《Life》140×84 cm / 2024年



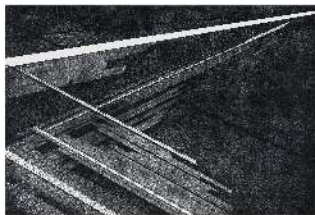
東京造形大学 大学院造形研究科造形専攻美術研究領域 修士1年
齊藤桜香 SAITO Sakura
《媒介（一部）》40×40 cm / 2023年



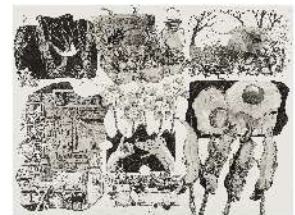
東京造形大学 大学院造形研究科造形専攻美術研究領域 修士1年
平野莉奈 HIRANO Marina
《原中》11.4×86×121 cm / 2024年



日本大学 大学院芸術学研究科造形芸術専攻 博士前期課程 1年
小林幹太 KOBAYASHI Kanta
《溺》90.7×64.3 cm / 2023年



日本大学 大学院芸術学研究科造形芸術専攻 博士前期課程 2年
青柳有華 AOYAGI Yuka
《廊ハクハ真中射サセテ給ハセ給ヘ》60×90 cm / 2023年



日本大学 大学院芸術学研究科造形芸術専攻 博士前期課程 2年
石川珠衣 ISHIKAWA Tamai
《実はそんな遠くない。》45×60 cm / 2023年



武蔵野美術大学 造形研究科修士課程美術専攻版画コース 大学院 2年
朴愛里 PARK Aeri
《海底》60×80 cm / 2024年



武蔵野美術大学 造形研究科修士課程美術専攻版画コース 大学院 2年
道又蒼彩 MICHIMATA Aoi
《duration》145.5×89.4 cm (4枚組) / 2023年



武蔵野美術大学 造形研究科修士課程美術専攻版画コース 大学院 2年
チョウ ウリン ZHANG YULUN
《88512969》可変 / 2022年～

版画五美大 2024

ポートフォリオ版画集 と アートブック展

同時開催

版画五美大 学生作品展 2024

女子美術大学図書館 貴重書コレクション展

主催：女子美術大学、女子美術大学美術館、女子美術大学 版画研究室

共催：東京五美術大学 各版画研究室

協力：女子美術大学図書館

後援：相模原市、相模原市教育委員会

関連イベント

申込不要

アーティストトーク

学生作品展出品者

日時：9月11日（水）14:00～15:30

会場：女子美アートミュージアム 展示室・ロビー

トークイベント

ポートフォリオ版画集の紹介

日時：9月11日（水）15:40～16:40

会場：女子美アートミュージアム 展示室

オープニングレセプション（関係者のみ）

日時：9月11日（水）17:00～

会場：女子美術大学 2号館 1階 学生食堂（SWITCH）

要申込

ワークショップ・製本

「はじめての手製本」

日時：9月14日（土）13:30～16:30

糸で綴じる手法の中でも最もやさしい、中綴じ製本で2種類のノートを作ります。製本クロスや紙の特性をしながら、手製本の楽しみを体験して頂けます。



講師：山口茉莉（版画家、女子美術大学非常勤講師）

対象：高校生以上（大学生、社会人含む）

定員：15名

会場：女子美術大学 8号館 1階 版画工房 814B

※ 当館ウェブサイトよりお申し込み下さい。先着順。

※ 版画五美大の学生は申し込みできません。

会場

女子美アートミュージアム

〒252-8538

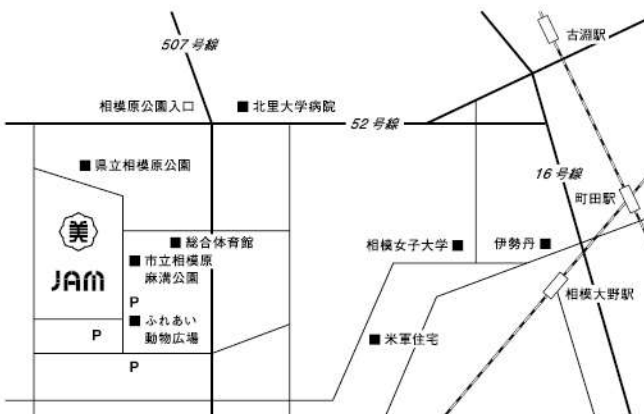
神奈川県相模原市南区麻溝台 1900

女子美術大学 相模原キャンパス 10号館 1階



アクセス

- ① 小田急線相模大野駅北口3番バスのりばから
神奈川中央交通「女子美術大学」行き終点下車 約20分
※ 平日・土曜日午前10時前はグリーンホール前4番バスのりば乗車
 - ② JR横浜線古淵駅2番バスのりばから
神奈川中央交通「女子美術大学」行き終点下車 約15分
- お車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください



お問合せ

女子美術大学 版画研究室

MAIL：pmw@venus.joshibi.jp

TEL：042-778-6635

<https://joshibi-hanga.com/>